

■相模 歌人。平安時代後期に、宮中の指導的歌人になった。

さがみ

・ ・ ・ ・ ・ 998 = この頃、生まれる。父は源頼光ともいわれるが不詳。母は前能登守慶滋保章の娘。

・ ・ ・ ・ ・ 1007 = 9歳：

後一条天皇・1016 = 18歳：

道長太政大臣1017 = 19歳：この頃、乙侍従の名で某宮家(皇太后研子か)に出仕したらしい。

三后鼎立・・1018 = 20歳：

道長出家・・1019 = 21歳：この頃、_相模守大江公資と結婚し相模国に下向。ここから相模と呼ばれる。

・ ・ ・ ・ ・ 1023 = 25歳：箱根権現に「走湯百首」を奉納。

・ ・ ・ ・ ・ 1024 = 26歳：*夫の任あけとともに帰京するが、藤原定頼との恋愛により夫公資と不仲となり、公資の次の任国遠江には同行せず、入道一品宮脩子内親王に出仕、歌壇での活躍がはじまる。

・ ・ ・ ・ ・ 1025 = 27歳：

藤原道長没・1027 = 29歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1034 = 36歳：

僧徒狼藉始・1035 = 37歳：「賀陽院水閣歌合」，

・ ・ ・ ・ ・ 1043 = 45歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1049 = 51歳：「内裏歌合」，

・ ・ ・ ・ ・ 1050 = 52歳：「前麗景殿女御延子歌合」「祐子内親王家歌合」，

前九年の役始1051 = 53歳：「内裏根合」，

末法思想始・1052 = 54歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1056 = 58歳：「皇后宮春秋歌合」などに出詠，*指導的歌人となったが，

・ ・ ・ ・ ・ 1061 = 63歳：*「祐子内親王家名所歌合」以後の動静は不詳となる。

家集「相模集」に約600首を収め，「後拾遺和歌集」以下に110首入る。

_没年不詳

「王朝の歌人たち・中世の歌人たち」，「日本の女性」，